

愛知県議会議員

— 自民党 1 期 —

神谷 和利



日本の国土の7割を占める森林はその6割が民有林ですが、所有者不明の山林面積は九州の面積を上回り国土の2割を占めるとの報告がありました。所有者がどこにいるのかわからない場合のほか、

相続手続きを長年放置したため権利者が分散してしまったケースもあります。

また所有者が分からずとも隣地との境界が分からぬ問題もありま

す。所有する山林の所在や隣接地との境界が

わからなくなるのは、父祖からの境界の口伝が曖昧であったり、歳

所有者不明の山林

国土面積の2割も

月の経過による林相の変化ということもありますが、森林特有の事

だったので土地の面積を少な目に申告するところが多かったといわれています。だから面積はおろか形状も参考程度にしかありません。

所有者不明や境界未確定の山林は、間伐や林道整備、災害復旧の

ITC活用「スマート林業」に期待

情もあります。

森林に関する地図には、公図や地籍図などがあります。公図は明治期の地租改正の際に作られたもので、聞き取りだけで作られたものも多く信頼性に欠けます。また課税のため

障害になります。国は地籍調査し、境界を確定して登記を進めていますが、その進捗は全国で45%、愛知県では20%に達していません。そこで期待されるのがICTを活用した「スマート林業」。これ

はセスナ機やドローンからレーザー測量をすることで、詳細な地形情報から崩壊地を把握。また樹木一本一本の位置、樹種、樹高、幹の直径を判別し、本数や立木密度といった森林資源情報も得られます。これにより最適な伐採計画や林道ルート的设计ができるほか、林相区分から、ある程度の境界も判明します。当事者同士が現地確認しなくても境界の合意ができるようになるかも知れません。

愛知県は昨年度までに、全域無人機レーザー測量を完了しています。

昭和36年1月2日生まれ。豊田市柿本町3-34。愛知県議会農林水産委員会副委員長。同人づくり・福祉特別委員会。自民党愛知県第11選挙区副支部長。元豊田市議会議員。愛知県森林協会理事。豊田市少林寺拳法協会会長。ボイスカウト豊田地区副協議会長。